

# 香の害を学ぶ 12月5日 ウエスタ川越 で

つむぎ☐afe☐学びのプロジェクト第1回は、12月5日土曜日、ウエスタ川越3階研修室で行われる。

14時から15時半まで。講師は香害をなくす連絡会 日本消費者連盟の平賀典子さん。

申し込みは必須であるが、どなたでも参加できる。参加費は資料代の300円。

子供たちの未来につなぐプロジェクトだ。

連絡先☐peace やまぶき 連絡先 049 - 265 - 4631

メール☐peaceyamabuki@tbz.t-com.ne.jp

---

## 子供たちを守ろう 川越市内4ロータリー クラブが非接触体温計を寄贈

川越☐☐☐鈴木健二会長) 川越小江戸☐☐☐大谷龍之会長) 川越西☐☐☐永島智会長) 川越中央☐☐☐長堀洋会長) で形成される川越市内☐☐☐共同社会奉仕事業連絡協議会では、このたび市内の小学校 中学校 市立高校 特別支援校56校に60個、非接触型赤外線体温計を寄贈した。

11月24日の贈呈式には国際ロータリー第2570(埼玉西北)地区の相原茂吉ガバナー(川越☐☐☐も出席。弁護士時代からロータリアンの川合善明市長は「第3波襲来か?」という中、感染予防は市民の皆様の協力なくしてなしえない。市内の学校では検温が第一。ありがたい」と感謝を述べた。

相原ガバナーは「こどもたちの安心 安全を創ることも私たちの使命である。感染予防にぜひ、役立ててほしい」と語った。

先般おこなわれた国際ロータリー第2570地区 地区大会では川越市に「医療従事者に役立ててほしい」と寄付も行われた。

1月3日に三上公務所前で行われる献血活動にも、コロナ禍で血液不足でもあり、4ロータリークラブとして協力しあおうということも確認された。

コロナ災禍。憂うばかりではなく、思いやる心、自分にできる何かを探すこと、小さな事柄を大きな成果にむすびつけていくことが肝要だ。

---

## サラヤ 更家社長埼玉へ

国際ロータリー第2570地区（相原茂吉ガバナー）ではこの秋、職業奉仕委員会（金井福則委員長）公共イメージ委員長（山本庄一委員長）合同セミナーを本庄文化会館で開催した。

コロナ禍以前より地球規模で感染症に取り組むサラヤ・更家悠介社長（大阪〇〇〇）が自身の職業奉仕を語った。更家さんは世界において社会貢献、世界の衛生 環境 健康に貢献してきた。メインはヤシノミ洗剤。

コロナ禍でどこでもいつでもアルコール消毒が生活様式になった今、手荒れで悩む主婦は多い。

「私は手荒れをしたことがない、サラヤのヤシノミ洗剤だから」という声をよく聞く。ヤシノミ洗剤の他、手指消毒剤は各種ウイルス細菌に効果的でありながら、保湿剤も配合されている。シャボネットという石鹼は界面活性剤を一切使用していない。感染予防の専門商品でありながら、人や環境に配慮されたサラヤ製品は医師 看護師 介護士、医療現場でも高い評価だ。

日本WHO協会副理事長 経済人大阪維新の会会長の更家氏。大阪吉村知事の万全なコロナ感染症対策のバックボーンに更家氏ありなのだ。

誰一人とりのこさない□□□□□□サラヤは世界規模の□□□□をめざしていくという。

更家氏は底抜けに明るい、そしてはっきりと心に響く発信力がある人。真のリーダーとはこういう人のことを言うのであろう。

---

## イノシシ出没 川越 大仙波

川越大仙波といえば、国道16号が通る地域。21日午後4時すぎにイノシシが出没。

警察からも気をつけるようにという無線が流されている。

どこからきたのか、いのしし。山や森といったら福原地区か？大東か？

いずれにせよ、注意が必要だ。

---

## 川越 仙波3丁目の場合 防災対策

仙波町3丁目にこのたび、使用していなかったコンテナを活かし、防災倉庫ができあがった。

使用していないコンテナを有効活用しようと自治会で決めたもの。

まずは装備。今後は災害時に動ける、防災ネットワークを構築するために地域の絆の醸成をはかっていくとのこと。

日ごろからの意識を高めていくことも防災対策の一つだ。

---

# 川越 大正浪漫夢通り 竹あかりは11月8日まで

こいのぼりで五月の空をうめつくすことでおなじみの川越 大正浪漫夢通り。

11月8日まで晩秋の夜を竹あかりが彩っている。

それぞれのお店が趣向を、意匠を凝らした雰囲気です。

ぜひ、暖かい装いで、出かけてみては??

---

## 三浦雄一郎さんはリモートで！国際ロータリー地区大会川越で開催

国際ロータリーは埼玉県内では西北と東南にわかれ活動している。埼玉県西北部国際ロータリー第2570地区（50クラブ 会員数約1600名 相原茂吉ガバナー）が11月3日ウエスタ川越で地区大会を開催した。

コロナ禍で新たな日常生活様式がはじまり、地区大会のテーマも「ニューノーマル」。相原茂吉氏の父は川越名誉市民であり「相原求一郎」として画壇で活躍、ロータリー活動にも熱心でロータリーの地区代表 ガバナーをつとめた。親子二代にわたってのガバナー就任は全国でも珍しい。

講師は三浦雄一郎氏。三浦氏は入院中の札幌の病院からリモート出演。子息の豪太氏がウエスタ川越で親子対談。80歳のエベレスト登頂の様子の画像を含め人生論を展開した。三浦氏は「いくつになってもあきらめない、常に人生の準備をし、新しいチャレンジをするべき」ときっぱり。極限をやる親子だからこそその対談に会場はひきこまれた。

また国際ロータリーの会長代理として群馬より高崎経済大学教授をつとめた田中久

夫氏が出席。田中氏は「知好楽」（知識を得て、好きになって楽しもう）といった人生哲学を述べた。

コロナ禍を乗り越えて、会社を支え、地域に貢献するロータリークラブの人々。みんながつらい、厳しい。しかし、前を向いていく姿勢は大切だ。

---

## いっぴん展は3日から6日まで 10時から15時 ピースやまぶき

和服のリメイクのさえずり工房をはじめ、や陶器、押し花など女性の間で話題の「いっぴん展」。

今年は新型コロナウイルス対策を万全にして開催。

1階ではあさ採り野菜の販売も実施する。

会場は川越市松江町1-5-5 エスポワール202

NPO法人peaceやまぶき 電話049-265-4631